

執筆者紹介（本文執筆順）

弦巻克二（つるまき かつじ） 奈良女子大学名誉教授。専攻は日本近代文学。主要論文「ねむり看守」（『論集 泉鏡花第二集』）有精堂ノチ和泉書院。「関東大震災と鏡花」（『ことばとこと』は 第十集）和泉書院。「中島敦「北方行」管見」（『叙説』平成九年三月）他。

呉谷充利（くれたに みつとし） 相愛大学文学部教授。著書『志賀直哉、上高畑の「サロン」をめぐる考察』（創元社）『近代、あるいは建築のゆくえ』（創元社）『志賀直哉旧居の復元』（学校法人奈良学園）『中之島図書館、新たな百年の一步―歴史から学ぶこと』（明日の中之島図書館を考える会）他。

石川玲子（いしかわ れいこ） 相愛大学文学部准教授。専門はイギリス近代文学。主要論文「ヴァージニア・ウルフが描いた『生』のかたち―クラリッサ・ダロウエイの死生観から―」（『相愛大学人文科学研究所研究年報』第二号（二〇〇八年））「子供から大人への旅―ディア・ノーバデイ」のクリスとヘレンの場合」（『英米文学の可能性―玉井暉教授退職記念論文集―』（英宝社 二〇一〇年））『灯台へ』のパーティー―社交・芸術・女性のつながり」（『ヴァージニア・ウルフ研究』第二十八号（日本ヴァージニア・ウルフ協会 二〇一一年））他。

平瀬礼太（ひらせ れいた） 美術館学芸員。著書『講座日本美術史 6 美術を支えるもの』（共著、東京大学出版会、『戦争と美術』（共著、国書刊行会）『銅像受難の近代』（吉川弘文館）（第23回回倫雅美術奨励賞）『彫刻と戦争の近代』（吉川弘文館 二〇一三年）『肖像』文化考』（春秋社 二〇一四年）

梁瀬 健（やなせ たけし） 大阪教育大学名誉教授。著作等『現代大学教育と新島精神』（新島研究六号 一九八四年）『明治期のキリスト教教育と新発見の新島書簡について』（新島研究八二号 一九九三年）『梁瀬戈登随筆集』（近代文芸社 一九九九年）他。

橋元淳一郎（はしimoto じゅんいちろう） 相愛大学文学部教授。山口大学時間学研究所客員教授。著書『時間はどこで生まれるのか』（集英社新書）『神の仕掛けた玩具』（講談社）日本文藝家協会 日本SF作家クラブ、日本物理学会、日本天文学会会員。

吉川仁子（よしかわ ひとこ） 奈良女子大学文学部講師。専門は日本近代文学。主要論文「芥川龍之介『玄鶴山房』考」（阪本龍門文庫蔵自筆原稿の検討を通して）（『叙説』平成十四年十二月）「夏目漱石と森田草平 手紙を書く女・書かない女」（『女の手紙』双文社出版 平成十六年）「夏目漱石『明暗』論―清子らしきとは何か？」（『明暗』論集 清子のいる風景』和泉書院 平成十九年）

りずむ 第四号

平成二十七年三月二十五日印刷
平成二十七年三月三十日 発行

編発行者 白樺サロンの会 呉谷 充利
橋元淳一郎
吉川 仁子

公開講座 〒630-8301 奈良市高畑町 二二三七―二

志賀直哉旧居・学校法人奈良学園セミナーハウス

〇七四二二二六六四九〇

事務局 〇七八（四五三）五五四五

発行所 〒559-0033 大阪市住之江区南港中四―四―一

相愛大学文学部 呉谷研究室

〇六六六二二五九〇〇内線四四四

印刷所 〒615-0052 京都市右京区西院清水町十三

協和印刷株式会社

〇七五（三二）四〇一〇